

平成19年度「留辺蘂まちづくり協議会」(第7回)会議録要旨

日時	平成19年10月17日(水)18:00~20:00
場所	留辺蘂町中央公民館 1階 小ホール室
出席者	協議会:10名(福原会長、前田副会長、大江委員、笠原委員、木村委員、菅波委員、久富委員、松山委員、本條委員、山田委員) 北見市:南川副市長〔留辺蘂自治区〕・小林教育事務所長・小澤総合支所主幹・志賀生涯学習課長・岸田保育課主幹・森産業課長・角丸建設課長・鎌田耕地担当係長・ 事務局:清野総合支所長・伊藤総務課長・奥原地域振興担当係長・海鉾地域振興担当

開 会

事務局 開会(18:00)
(総務課長) ただいまから平成19年度 第7回留辺蘂まちづくり協議会を開催いたします。
それでは、福原会長よろしくお願いたします。

福原会長 お晩でございます。めっきり寒くなりまして、もうすぐ冬なのかなと感じるところでございますが、温暖化現象で暑い暑いと言っていたら、やっぱり、季節の変化が狂っているのかと思いますが、今日におきまして、午後から10度くらいの気温なんです、これからしばらくの間、お互いに健康管理には気をつけたいなとそんなふうに思っておりますので、今日はよろしくお願いたします。

福原会長 それでは、南川副市長よりごあいさつをいただきたいと思ます。

南川副市長 お晩でございます。私からは、市政のご報告をさせていただきます。前回の9月20日のまちづくり協議会以降の動きですが、6日からの9月の定例市議会が28日に終了ということで、その中で、18年度の決算審査が併せて行われまして、おかげさまで、留辺蘂自治区的には大きな指摘もありませんでした。また、29日には、まちづくりパワー支援事業に採択されました、みずほの風の芸術文化鑑賞事業で「劇団 風の子」の公演がありました。多くのお客さんが来たわけではありませんが、和気あいあいの中で、なかなかいい公演だったというふうに感じました。また、10月に入りまして、4日から8日まで、私が、韓国の晋州(チンジュ)市に姉妹都市として公式訪問をさせていただきました。4日間、晋州市当局の対応を含めて、勉強をさせていただきました。市長の代理という立場で交流をいたしましたけれども、やはり、国が違うと学ば事がたくさんあるなと参加して、これから、これらの中から、1つでも2つで

も実のある姉妹都市交流になっていくように決意を新たにしております。10月も中旬になりまして、東急百貨店の取得ということで、いろいろと新聞報道等の動きがございますが、この経過につきましては、13日に、これら連絡会議におきまして、何点か報告や協議があったのですが、その中で凝縮して2点、1つは、北見市が取得する方針を決めたということ、それから、ビルの利用については、公共部門も利用するような形でもっていくということ、それから、もう1つは、この運営主体マネージメントを、まちづくり会社に要請をするということで、先般、取締役会が開催されまして決定となりました。あとの関係につきましては、取得価格等の交渉が継続中でございますが、どのくらいの金額で落ち着くのか、新聞報道や私なりの情報を総合して言いますと、0円から15億円という大きな幅がございますが、継続的に交渉を進めているところでございます。また、関連いたしまして、水道断水に係る市長をはじめとする責任、処分ということについても、それなりの報道がございまして、それぞれお考えがございますから、そのことについて、言及をするためではございませんが、事実として、9月の中旬には、市長をはじめとする関係者の処分をして責任所在を明らかにすることで市長は考えていたのですけれども、議会の側で、議会での審議を十分つくすため、特別委員会を設置するという動きになりました。以降、いま現在、まだ特別委員会の審議が終了していないということで、残念ながら、なかなか報道や市民のみなさんからの批判を受けるんですが、明らかに特別委員会が終了するまで処分できないのが現状でございます。このことにつきましては、事実だけを報告させていただきたいと思っております。以上、かいつまんで報告をさせていただきましたが、今日の議案の中心は、第3次実施計画ということでございますが、自治区的な審議は2回目で、2年目ということになりました。皆さんが、いまから事業のシートを見ながら、しかるべき自治区の発展方向を確立することになっておりますので、本日はよろしくお願いたします。

質問・意見

福原会長 いまの副市長からの話しの中で、特にお聞きしたい点がございましたら、ご発言いただきたいと思います。

笠原委員 「3.その他」のときにでも質問させていただきたいと思っております。

福原会長 いまの報告事項については、何か質問は無いのですか。

笠原委員 それでは、お聞きしたいと思います。

たまたま、今日の道新の夕刊を読んでいましたら、北見市は地域産業活性化計画ということで、2011年までに有識者呼んで100人前後のシンポジウムを開催するという計画なんだそうですけど、主に、食品、IT関係という具体

的な計画とか、既に出されているのですか。

南川副市長

お尋ねのことにつきましては、私はまだ掌握しておりません。かなりの資料があるんだろうと思いますが、総合支所としての役割がございませんので、また、次の機会にでも、皆さんにお示しできる資料が手にできれば、お示しいなと思います。

笠原委員

確か、北見市の場合、誘致した企業によっては、1000万円の報奨金という制度もあるようなんですけども、自治区で考える必要が無いと言われれば、それは、それまでの事だと思うのですが、ただ、この中に、新聞報道によれば、農地転用手続きの迅速化ということで、たぶん農業基本法の関係で少しでもやりやすくなったのかなと、ただ、具体的なプランがあって、留辺蘂自治区内にもプランがあったのかどうかということだけ教えていただきましたのですが。

福原会長

また、のちほどということで、他にございませんか。

報 告

【 会議の成立について 】

福原会長

それでは、会議に先立ちまして、委員の皆様に事務局より会議の成立について報告してください。

事務局
(総合支所長)

会議開催に当たりましては、北見市自治区設置条例第7条第3項の規定によりまして、半数以上の出席が必要であります。本日、大野いづ美委員、坂下恵子委員、澤山一之委員、中村憲二委員、千葉せつ委員におかれましては、所用のため欠席する旨の連絡をいただいておりますので、正副会長を含め、委員15名中10名の出席をいただいておりますので、半数以上の出席がありますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。

福原会長

本日の出席者は10名で、会議は成立しておりますので、委員の皆さんよろしくお願いたします。

福原会長

本日の会議につきましては、概ね午後8時を目途に終了したいと考えておりますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

議 題

【 (1) 第3次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 資料説明 】

福原会長

それでは、次第の「2. 議題」に入らせていただきます。

(1) 第3次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の今後のあり

方について協議を行ってまいります。本日は、第1次及び第2次実施計画から継続する懸案事業について協議を行ってまいります。最初に資料について事務局より説明をお願いします。

事務局

資料について説明をさせていただきます。

(地域振興係長)

協議会資料の1ページをお開きください。こちらの資料につきましては、新市まちづくり計画主要事業一覧でございます。新市まちづくり計画に登載されました事業を各所管課ごとにまとめた資料であります。これから説明させていただきます懸案事業の基礎になっている計画でございます。

次に、協議会資料の5ページをお開きください。第3次実施計画の懸案事業として考えております第1次及び第2次実施計画からの継続事業 25事業につきまして、新市まちづくり計画の6つの基本目標に振り分けたものでございます。

次に、協議会資料の6ページをお開きください。本日説明させていただきます継続の懸案事業を一覧表にまとめたものでございます。7ページの下段に金額の合計を記載しております。平成20年度では、総事業費が10億1925万7千円、一般財源では4955万9千円、平成21年度では、総事業費が14億468万1千円、一般財源では1億49万7千円、平成22年度では、総事業費が11億921万8千円、一般財源では1億2065万8千円となっております。前回の第6回協議会で、今年度の答申につきましては、事業に優先順位を付けて答申していただくこととしたところでございまして、一般財源の金額の目安を平成20年度で5000万円、平成21年度、平成22年度で、それぞれ9500万円としてお願いをしたところでございます。継続事業だけの比較ですが、一般財源で比較しますと、平成20年度は、5000万円に對しまして、4955万9千円とほぼ同額の事業費になっております。平成21年度では、9500万円に對して1億49万7千円ですので、約550万円オーバーしております。平成22年度では、1億2065万8千円ですので、約2560万円オーバーしております。この継続事業に、次回の第8回協議会で説明させていただきます新規の懸案事業を追加した中で、事業の優先順位を付けていただくこととなりますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

質問・意見

福原会長

事務局より資料についての説明をいただきましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思っております。

笠原委員

事務局から説明がありましたが、継続事業に、プラス新規事業ということですが、前回の協議会で、年度ごとの一般財源ということですが、折角、合併前にいろいろと事業を組み立てられて、まちづくり協議会としては、結果的にカ

ットするカッター役を担わされているかなということになるのでしょうかけれど、基準は金額的に言ったら数字さえ合えばいいという話しにはならないのかな。減額するために事業を取り止めるとか延期するとかというためだけに、この協議会が行われることは予想していなかった。本当は昨年からこのような雰囲気でしたが、これは、例えば、枠というものが、今後変動するというか、可能性ですね、枠が増えるとか、という可能性はあるのですか。

福原会長

例えば、20年度では、5000万円になっているけど、協議した中で、5000万円より増える可能性はあるのかということですね。

笠原委員

例えば、自治区内だけだとうなると思うんですけど、全市的に、他の事業が全市に関わるような事業で、もし、その部分が、こちらの部分からこっちに持ってくるということ以外考えられないと思う。全市的なことが関わっていることですから。そうした場合、この金額にどうしても押し込めていかなければならないとなると、かなり辛い選択が迫られている。たぶん市民にこの結果が出た段階では、まちづくり協議会で審議したので、行政が考えたのではありませんというふうに言われるのかな、それもまた辛い話だなというふうに思うのですが、この新市まちづくり計画を作ったときは、山田委員がここにおりますけれど、今度はこれを削っていかなければならないという、どっちの立場にもいるわけで、削ることに関わるのは非常に心理的にも辛い。ですから、そういう面でも、少しでも枠を増やせる可能性は、私は無いと思うのです。

福原会長

事務局よりも、副市長に答えていただきたいと思います。

南川副市長

言うまでもなく、新市の財政状況は、国の財政状況を反映して、全国の自治体が財源を圧縮されていますし、交付税自体も毎年減少している中で、今度、例外に再配分がありますけれども、全体としては、地方に対する支出は少なくなってくるというのは大きな流れです。それから、技術論でいうと、例えば、皆さんにご審議いただく事業選択がこの予定されている枠の中で出していけば、それでいいのかという、いわゆる自治区の実存意義に関わる問題です。ですから、これらはもとより、協議会が決めたことだからそれでいいんですなんていうことを説明しているとは思っていませんから、ただ、皆さん方が現状を市民の目から見たときに、そういう目で見られるという想いがあるとするば、我々事務方も皆さんと共に市民に理解をしていただけるような事業選択をしていくのが本当だなと思います。市長も、これからの財政運営は地域の皆さんの協力や理解を得なければならないと思っておりますし、また、その理解の主張として、まちづくり協議会の皆さんには事業選択という大きな任務を担ってほしいと考えていますし、私自身も、まちづくりも地域づくりも10年スパンで考えていくと、その取り組みをいまやって、市民の皆さんには、しっかりと市町村の運営を市民自らの手で組み立てていかなければならないという

ふうと考えております。そういう考え方があっても、現実的には、お諮りした事業がオーバーしていれば、その辺をご協力ということで、また、皆さんにご審議いただいた結果として、笠原委員が言ったような結果としたら、それは全市的な計画はこれからですから、その中で、できる限りの意見反映はしていかなければならない。結果は別にしましても、そういうふうには考えております。

笠原委員

まちづくり条例に関わってくるんですけど、その中で、いわゆる自治区設置条例の中に、自治区長の裁量権、決裁権が5000万円までという話しを合併前にも伺ったと思うんですけど、これは合併特例の関係で、こうゆうような中で、自治区独自で予算配分を市長の方針として、今回これは、ですから自治区長として伺うのではなくて、副市長という立場に対して、北見市は別にしても、旧3町にしてみても同じような作業が続くと思うんですけど、折角、自治区を作って自治区長がいるわけですから、その中で融通が利くというのは、自治区設置条例の中にある自治区長の裁量権、具体的には金額が入っていないんですけど、ただ、決裁権として副市長として5000万円。毎年このほかにも5000万円くらいの自治区内で、ある程度、フリーに使えるような予算配分をすとか、配慮すとか、そうゆうのが何か必要と思いますし、今回、まだ予算編成方針がまだ打ち出されていないというようなことなんですけど、出来れば、自治区長であり、副市長であるのですから、自治区にとって、やっぱり使える財源を全市の中で、今後、予算の中で措置してもらえれば、我々としても、特に、まちづくりについては、いまのところ、やっぱり絵に描いた餅、ただ書いて黙っているしか仕方が無いと思うんですけど、ですから、そういうような可能性というものを追求していきたいなと、そうでなかったら、ただただ削って、なんとかして削って、苦しい作業だけをせざるを得ない。

福原会長

5000万円の専決のことが出てきましたが、説明していただけますか。

南川副市長

笠原委員の言われた5000万円の専決権というのは、何をどのように措置されているのかというようなことだと思いますが、それ以外の方法として、自治区から、例えば、予算要求をすとか、そうゆう形を目指すべきではないかということだろうと思います。そのとおりだと思います。しかし、いま直ぐに出来るかということ、まだ、そういう段階ではありませんが、合併時に自治区を作るという主旨の中には、合併協議会の中では、皆さんもそういうイメージを抱いております。それで、いま言われたことに対して、答える状況にはありませんが、1つとして、まちづくりパワー支援事業を作りましたが、金額としては少ない金額ですけれども、こういうような取り組みに近づくようなことは、いま申し上げておきたいと思っております。

笠原委員

やっぱり思うのですけど、将来の事業をですね、改良だとかそういう原因も出てきているわけで、やっぱり北見市は駅周辺の活性化それはもちろん構わな

いと思うんですけど、留辺蘂自治区はそれによって衰退することになってしまったら、だから、コンパクトシティという考え方自体にしたって、留辺蘂自治区では留辺蘂の、ここの、もともとの中心部分を、やっぱり核にした発想でないはずではないかというふうに思います。ですから、ぜひ、折角、自治区長と自治区設置条例を置いているのですから、それを実のあるものになるような形に働きかけをしていただきたいと思います。

南川副市長

いまコンパクトシティについてのお話がありましたが、これは、まちづくり協議会の中で説明した経過があるものですから、合併前から旧北見市はコンパクトシティ構想を掲げていて、今度、合併して周辺町村も一緒の街になりましたから、このコンパクトシティの考え方を、どのようにして新市に広げるかということで、旧北見市の方針から変わりましたから、それは、留辺蘂にも常呂にも端野にもコンパクトシティという概念で、ということで、規模が違うんですが、それで、この中心市街地の引き続きの開発もそういう位置付けの中で進めていく方向に変わりました。

議 題

【 (1) 第 3 次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 教育事務所総務課所管 】

福原会長

それでは、協議に入らせていただきます。

個々の事業についての説明をいただきたいと思いますが、最初に、教育事務所総務課所管の事業について協議を行ってまいりますので、事業の説明をお願いします。

小林教育事務所長

それでは、教育事務所総務課所管の事業について説明いたします。

留辺蘂中学校大規模改造事業について説明いたします。

… 小林教育事務所長より説明 …

留辺蘂中学校大規模改造事業

質問・意見

福原会長

小林教育事務所長より説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思ひます。

松山委員

他の学校と見合わせて、順番で老朽化の工事を行われていくとは思うんですが、中学校はあくまで学校拠点とか主体なんですけど、避難場所にもなったりしますが、そういう点で考えてみると、やはり留辺蘂の中にも、住民に何かがあったときには、体育館とかに避難しなければならない状況を踏まえると、難しいことだと思うんですけども、学校として老朽化等の修繕をしていけばいいという中での予算配分だと思うんですが、確か小泉中学校だったと思うん

ですが、太陽光パネルを使って電力の供給をしながら、そういった形で電気の節約をするんだと思うんですけど、何らかの場合に中学校に住民の方が避難されるわけですね、なので、留辺蘂中学校だけ先行というのはどうかと思うんですけど、小泉中学校という前例がありますので、そういった住民の方の避難場所になることを踏まえて、校舎の老朽化の修繕でも、なるべく、これからも住民の方の避難場所と、それから、住民の方、周りの住民の方も両方を考えた校舎設計を考えたほうがよいのではないかと思います。

小林教育事務所長 本当に貴重なご意見だと思います。先般、議会の決算委員会の中でも、避難所に指定されている。断水の関係もトイレの話しだったんですけど、例えば、体育館に避難したときにフロアが非常に冷たいとか、冬期間の場合だったらゴツゴツしているのでマットはどうかといういろんな話が出ていますが、そこで、非常時には人を当然、避難場所としての位置付け、バリアフリーも当然そうですし、そういう時代に沿った私たちのいろんな課題に対応できるような設備とか、そういう排水についても配慮していくことになると思いますので、いま出されている意見も参考にして参りたいと思います。

福原会長 他にございませんか。

大江委員 私は逆でして、いま予算をどうしようか、数字を入れようとしているときに、自分で後悔するところも、自分の家のことを考えたら思うんですけど、あまり多目的になることが本当にいいのかどうか、もちろん公共施設ですので、民間のホテルとは全く次元が違うんですが、いろんな目的を持ってやろうということでございましたけれど、時代とともに陳腐化してしまうのが相当早いので、やはり、いまから10年後を見据えて投資するんだということを公的なところはやるのかもしれませんが、基本的に、もう20年経てば既に陳腐化してしまって、20年間全く一度も使わなかった機能に投資してしまったということの無いようなさったほうがよいのではないかと、ということは、公的な費用をかけるのですから、中学校にどのような機能を持たせるべきなのか絞り込むべきではないかと思えますし、このようになればいいということ、我々、願望として持っているわけですから、されど、日常的にはどうなんだ、ということ、現実の問題を見ながら考えていけばいいのではないかと、いうふうに思います。あまり身に余るような過剰な投資をするべきではないだろうと思えます。

福原会長 いまのことについて、何かお答えしたいことはありませんか。

小林教育事務所長 いまの意見もそうであるかもしれませんが、体育館を避難所として、うちの社会教育部として必要最低限の整理ということ、どの程度できるのかということ、松山委員からの意見から伺うこともできましたし、大江委員からの意見については、当然のことながら少子化ということが危惧される。国の補助

金も大規模改修については、一応基準がございまして、耐震後、補強するというところをする。あとはバリアフリーにするというこういう部分が利点になってきますので、必要最低限の改修工事になりますので、そういう点を踏まえて進めていきたいと思っております。

福原会長

後はございせんか。

大規模改修とは別なんですけど、さきほどの説明では雨漏りということですが、今後は大規模改修でやる。そんなことではないと思うんですけどね。雨漏りはすぐ直さなきゃならない。金があっても無くても、直ぐやらなきゃならないということである。地震は、だいぶんこの辺は少ない方ですけど、それ以外に、校舎そのものが耐力的に、ちょっと風が吹いたらあぶないぞとなんて言われたら、これは当然やらなきゃならない。これはもう大規模改修なんて待ってられない。予算があっても無くてもやらなきゃならないものもあるんだということをご指摘しておきたいと思っております。

大江委員

いま、福原会長がおっしゃられたとおりです。雨漏りを放置しておくと、4倍のコストが掛かってきます。水が入って凍裂したなんてことになったら、それこそ大変なことになりますので、コスト削減にもなりますので、早く対応された方がよいと思っております。

小林教育事務所長

見積りも現況も全部把握してございますし、見積りを業者から取って、ただ、大規模に屋根を改修するということになると、例えば、普通だったら600、700万円になると思っております。ただ、大規模改修という部分であれば、温根湯中学校にしても、留辺蘂中学校にしても、統廃合の対象ということにはなりませんので、いずれは改修しなければ反るということで、コーキングのですね問題、これがどれくらい持つか、一応、予算は上げて、臨時費対応になりますけど、臨時費はこれから審議ですので、上げていくという理解はしております。

福原会長

他にありませんか。

無ければ、次に進みたいと思っております。

議 題

【 (1) 第3次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 生涯学習課所管 】

福原会長

続きまして、生涯学習課所管の事業について説明をお願いします。

志賀生涯学習課長

それでは、生涯学習課所管の事業について説明いたします。

八方台スキー場施設整備事業について説明いたします。

… 志賀生涯学習課長より説明 …

八方台スキー場施設整備事業

質問・意見

福原会長 志賀生涯学習課長より説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思ひます。

菅波委員 スキー場は振興開発公社で指定管理してはいますが、来年以降は違ふんですか。

志賀生涯学習課長 指定管理者との協定が21年の3月までになつてごひます。当然、受けながら、振興公社につきましては、21年3月をもって解散ということになつてごひますので、おそらくは、時期的には来年20年の夏以降くらいには新たな指定管理者の選定作業を行つて参ります。

菅波委員 公社が解散しても、この事業は続けていくのですか。

志賀生涯学習課長 基本的に、施設の管理ということになりますので、スキー場を運営していく上で、必要な施設という位置付けで、設備という位置付けですひので、指定管理者が新たに変わったとしても、設置者として整備を行うものです。

福原会長 他にごひませんか。
無ければ、次に進みます。

議題

【 (1) 第3次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 子育て支援室保育課所管 】

福原会長 続きまして、子育て支援室保育課所管の事業について説明をお願いします。

岸田保育課主幹 それでは、子育て支援室保育課所管の事業について説明いたします。
保育園整備事業について説明いたします。
… 岸田保育課主幹より説明 …
保育園整備事業

質問・意見

福原会長 岸田保育課主幹より説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思ひます。

笠原委員 協議会資料の1ページの下段ですよね、総事業費が5億4481万5千円、いまの説明では総事業費が2億8920万円ということですが、定員削減だけではなくて、場所を含めてですね。

岸田保育課主幹 建設面積が当初 1,450 m²を予定していたのですけれども、1,000 m²を目途に建設をしていきたいと思っております。

笠原委員 当初、22年度でしたが、1年先延ばしたのですね。

岸田保育課主幹 そのとおりです。

福原会長 随分、金額が違いますね。

笠原委員 前に、中村委員が言っていましたが、地産地消で、地元で材料を使っていないのは、ちょっとセールス上、問題あると思います。その辺がカットされたのではと危惧したのだけれども。その辺は地元の木材を使った建築は。

岸田保育課主幹 そのように進めていきたいなと計画を立てております。

福原会長 当初22年度からの計画で、22年から出来上がったとしても26年になるが、統合は26年ですか。

岸田保育課主幹 統合は、現段階では21年か22年になると思います。

山田委員 現在、あさひ保育園とさかえ保育園では何人いるのですか。

岸田保育課主幹 現在、園児は76名です。

山田委員 それで、いまのさかえ保育園には統合しても入れるの。

岸田保育課主幹 さかえは80名の定員ですので、問題ありません。

福原会長 他に、ございませんか。
無ければ、次に進みます。

議 題 【 (1) 第3次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 産業課所管 】

福原会長 続きまして、産業課所管の事業について説明をお願いします。

森 産業課長 それでは、産業課所管の事業について説明いたします。
1つずつ説明させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
最初に、平里地区道営担い手支援型畑地帯総合整備事業について説明いたし

ます。

… 森 産業課長より説明 …

平里地区道営担い手支援型畑地帯総合整備事業

質問・意見

福原会長 平里地区道営担い手支援型畑地帯総合整備事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

福原会長 何か、ございませんか。
無ければ、次に進みます。

福原会長 続きまして、留辺蘂温根湯地区道営担い手支援型畑総事業について説明をお願いします。

森 産業課長 それでは、留辺蘂温根湯地区道営担い手支援型畑総事業について説明いたします。

… 森 産業課長より説明 …

留辺蘂温根湯地区道営担い手支援型畑総事業

質問・意見

福原会長 留辺蘂温根湯地区道営担い手支援型畑総事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

笠原委員 現在、国道の2車線工事をしているところに、もともとあそこは農道だったところですよ。町道だったとか。国道の横に停車線があって、いまは、3車線みたいになっているところですよ。

森 産業課長 協議会資料33ページの図面を見ていただきたいと思いますが。

本條委員 林鉄線の軌道ですね。

森 産業課長 そうです。林鉄線です。

笠原委員 林鉄線ですよ。国道と林鉄線が一緒になったから、入れ替わりの農道ですね。

森 産業課長 違います。国道は国道で、あと、ゆずり車線といいますか、拡幅ということ両方で工事をやってございますけど、そうではなくて、林鉄線という市道があるんですが、そのつなぎの部分です。8号から11号までの部分を連結させ

るものです。

笠原委員 図面をよくみていただきますと、工事箇所には244という数字があるんですが、そこにあった道が無くなって、こっちの方に引っ張っていきんでないの。

鎌田耕地担当係長 直線の部分は現在の道を改良して、その道の下に折れてくるところがありますが、それからは新設の道路です。

笠原委員 確か国道の横がもともと林鉄線の用地だったんですよね。

鎌田耕地担当係長 いまも現状の市道の認定は8号線から直線部分を使用するんですが、そこは市道として認定されています。そこで、今回の事業の中で、それから南側に折れて11号線までに新たに道路を改良していくという形になります。

本條委員 道路が寸断されているのを繋げるものです。

笠原委員 国道で事故があっても迂回路が無かった。

本條委員 長年の懸案事項です。

福原会長 他に、ございませんか。
無ければ、次に進みます。

福原会長 続きまして、留辺蘂商業活性化推進事業補助金について説明をお願いします。

森 産業課長 それでは、留辺蘂商業活性化推進事業補助金について説明いたします。
… 森 産業課長より説明 …
留辺蘂商業活性化推進事業補助金

質問・意見

福原会長 留辺蘂商業活性化推進事業補助金について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

福原会長 何か、ございませんか
無ければ、次に進みます。

福原会長 続きまして、「峠の駅・石北峠」再開発基本計画作成事業について説明をお願いします。

森 産業課長 それでは、「峠の駅・石北峠」再開発基本計画作成事業について説明いたします。

… 森 産業課長より説明 …

「峠の駅・石北峠」再開発基本計画作成事業

質問・意見

福原会長 「峠の駅・石北峠」再開発基本計画作成事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

大江委員 意見はありませんが、いままでと状況が一変しているところも、どうなるのかということだけを注目せざるを得ない。私は要望をしていた側ですから、計画が始まることは大歓迎ですが、いま高速道路が延びていますから、どうなるのかと思います。

福原会長 基本計画策定のために費用ということですね。

森 産業課長 はい。そのとおりです。

笠原委員 もともと平成17年度実施予定でしたよね。いまの状況から言っても20年から1年延ばしても、あまり意味がないので、もうちょっと前倒しにはならないのですか。

森 産業課長 全体的な図上の中での推移を見なければならぬものもありますし、さきほど言いましたように、土地には、いろんな部分の機関が絡んでいるということからしたら、時間をいただいての部分というふうに考えております。

山田委員 いま大江委員からも言われたとおり、国に要望しているものです。商工会議所または建設業界と、いままでずっと継続して要望していました。また今回も要望があると思いますが、今回の火災を機に、もっと協力的に基本計画を早めてもらうようなことにならないのでしょうか。

笠原委員 一般財源ですよ。

山田委員 市として基本計画を作って、最終的には、あそこのエリアをトイレだとか、いろんなものを造ろうとしたら、こんなもので済みませんから、やっぱり一般財源よりも国、道の予算をもって、やってもらった方がいいのかなと思います。

笠原委員 結局、上川の道路がどんどん延びることによって、交通量が減るというようなこともあるので、そういう面から言っても、早急に整備した方がいいと思

ます。それを整備しないと、どんどん向こうに流れてしまいます。一般財源が無理ならば、しかも基本計画であれば、早いうちの方がいいのかなと思います。

久富委員 最終的にはいろいろな案件があるのでしょうか、出来るだけ早くしていただきたいと思います。

福原会長 トイレとかバリアフリーのトイレということですが、いまの場所から移転するということですか。

森 産業課長 それも、計画に入れなければならないと思っております。

久富委員 実現度がわからないにしても、こういう構想を是非お願いしたい。なるべく早くして必要性を訴えていただきたい。

山田委員 高速道路が向こうに延びちゃうと、行動が向こうだろうと、こっちは無くなるだろうと思います。ですので、出来れば、1つの目玉として、石北峠の景観からいって、早くやれば、また、ここに人がくると思います。

笠原委員 ここにバイオのトイレとか、或いは、太陽光だとか、自然を施設に取り入れることも、モデルケース的にやっていただきたいと思います。結局、アメリカの地方都市が衰退したのは、高速道路の発達と言われています。

福原会長 出来るだけ早くということをお願いします。
他に、ございませんか。
無ければ、次に進みます。

議 題

【 (1) 第 3 次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 建設課所管 】

福原会長 続きまして、建設課所管の事業について説明をお願いします。

角丸建設課長 それでは、建設課所管の事業について説明いたします。
最初に企業局関連の事業について説明いたします。

… 角丸建設課長より説明 …

温根湯温泉地区簡易水道近代化推進事業

留辺蘂地区公共下水道事業（污水管渠）

留辺蘂地区公共下水道事業（雨水管渠）

留辺蘂下水道管理センター整備事業

質問・意見

福原会長 企業局関連の事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

福原会長 無ければ、私から質問させていただきます。
温根湯の取水施設の有収水量はどれくらいですか。温根湯と留辺蘂をつないで、それから北見につなげることはできないのですか。それで、北見市の何分の1は賄えるのではないのでしょうか。

角丸建設課長 時間別の有収水量は把握していませんが、浄水能力としては、いま温根湯浄水場を整備するのは、温根湯温泉地区と、新たに、いままでは、部落水道でした昭栄地区と大富地区を併せてこの簡易水道事業で近代化を実施します。また、留辺蘂地区の金華浄水場は、処理能力があるものですから、出来れば、いま西相内地区は留辺蘂の水道ですが、それらについても、北見市全体的な計画の中で、相内地区あたりまでを、万が一のときは供給できるような体制ということも含めて、水道事業の中で計画されております。

木村委員 水道管は大丈夫なんですか。

角丸建設課長 いま温根湯地区の老朽管の更新をしていますので、問題ありません。

南川副市長 有収水量は7割程度ですから、3割程度は無収です。それが完全にカバー出来れば、北見の水道も断水対応の1つとして、国道からの周辺はいけるかなと思います。その前に、留辺蘂の管の改修をしなければなりません。

事務局 (総合支所長) いま相内の小麦乾燥貯蔵施設のところまでは、留辺蘂の水道がいて、給水人口でいきますと、相内地区の給水人口までは、留辺蘂の金華浄水場の浄水能力からすれば可能でなかろうかということでございます。

福原会長 他に、ございませんか。
無ければ、次に進みます。

福原会長 続きまして、道路整備関連の事業について説明をお願いします。

角丸建設課長 それでは、道路整備関連の事業について説明いたします。

… 角丸建設課長より説明 …

留辺蘂町大富北1線

留辺蘂町鉄南5号・10号通り

留辺蘂町温泉団地3・4・5号通り

留辺蘂町国体通り

留辺蘂町留辺蘂訓子府線

留辺薬町営林署南通り

3・4・5 中央通交通安全対策事業

質問・意見

福原会長 道路整備関連の事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

笠原委員 直接、道路には関係ありませんが、国体通りの街灯の点灯時間ですけど、遅くなったという話を聞いたんですが、どういう調整をしているんでしょうか。

角丸建設課長 国体通りの街灯については、タイマーを設置しています。通常の1灯、1灯、北電と契約している街灯は明るさを感知して装置が付いていて、暗くなると点灯しますが、あそこだけタイマーですので、暗くなる時間が変わると遅くなってしまう場合があります。

笠原委員 ちょうど夕暮れ時で買い物をする人が多くなる時間になっていますので、出来れば明るさを感知するものにしていただきたいのですが。

角丸建設課長 地下埋設のケーブルをもって、それらの街灯を点灯させていますが、歩道の改修に併せまして、街路灯の改修する流れになっています。実際、市民の方から点灯していないという連絡がありますので、出来るだけ日暮れの時間に合わせるように対応したいと思います。

笠原委員 それと、今回不幸な事故がありました。国道ですので、なんともいえませんが、改めてよく見たら、歩道があっても、夜になっても街灯が点いていないところがあるんですね、歩道を照らす光というか、だから、夜になったら歩道があるかどうか、信号見たらわかるんですけど、やっぱり、歩道があったとしても、気がつかないで通過する。だから、歩道そのものを照らすっていうか、そういうことが必要なのかなと思います。その辺は、街灯設置のときに歩道については、安全性を最優先で、そういう感覚でいいのか、ちょっとわかんないんですけど、やっぱりそういう優先度の問題で必要がどうかを考えていただければいいのかなと思います。

福原会長 街灯があるけど、消えているところがある。

笠原委員 信号機があっても、街路灯がついていないところがある。歩道が照らされていないんですね。ですから、夜になると見えなくなる。そういうケースがたまにあります。

角丸建設課長 道路事業では、交差点ですとか、指定箇所につきましては、街路灯はつける事にはなっていますが、中には、漏れている箇所もあると思います。いずれにしても、国道については、開発局になりますので、そういうところがありましたら、具体的にありましたら、お話ししていきたいと思います。

福原会長 国道関係や農道関係も、直接言うのでなくて、自治会から、いままでの具体的な例を総合支所を通して市長にお願いしてもらおうと、かえって解決が早く行く場合がある。自治会から直接言ったって解決しない。そういう方法もありますよ。

福原会長 他に、ございませんか。
無ければ、次に進みます。

福原会長 最後に、雪寒補助建設機械等更新事業について説明をお願いします。

角丸建設課長 それでは、雪寒補助建設機械等更新事業について説明いたします。
… 角丸建設課長より説明 …
雪寒補助建設機械等更新事業

質問・意見

福原会長 雪寒補助建設機械等更新事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、いただきたいと思います。

大江委員 教えていただきたいんですけど、自前で機械を持つのと、外注するのと、組合で持つのとでは、何が違うんでしょうか。

角丸建設課長 いま道路維持も含めて、除雪も含めてですが、旧北見市は、委託で実施していた経過があります。各自治区についても、そういう方向で進められているところは進めていますが、北見市自体も建設機械は、国の補助制度があるものですから、市で所有できるものは所有して、委託業者に貸し出して安くしようということで、更新すべきものは更新していくことになります。

福原会長 除雪体制についても、現状を維持していただきたいと思います。

本條委員 当面、旧町の体制でいかないと、合併議論そのものが揺らいでしまう。

福原会長 他に、ございますか。
それでは、次に進みます。

議 題

【 (1) 第 3 次実施計画に盛り込むべき事業など、自治区内事業の
今後のあり方について 温根湯温泉街再生整備事業 】

福原会長 続きまして、温根湯温泉街再生整備事業について説明をお願いします。

小澤総合支所主幹 それでは、温根湯温泉街再生整備事業について説明いたします。

… 小澤総合支所主幹より説明 …

温根湯温泉街観光案内看板設置事業（温泉街再生）

農村公園（花のエリア）整備事業（温泉街再生）

無加川河川改修に伴う関連事業（1条橋延長工事）

2条橋周辺広場整備事業（温泉街再生整備）

左岸道路改良・舗装（温泉街再生整備関連）

つつじ公園進入路改良事業（温泉街再生整備）

福原会長 温根湯温泉街再生整備事業について説明がありましたが、ご質問、ご意見等、
いただきたいと思います。

大江委員 質問ではありませんが、皆さんに、観光協会長としてお願いがあります。

我々も、少しずつ努力をしながら、この事業について、1日でも早く着手出
来るようお願いをしていますけれど、住民の理解があって、広い意味での住民
の理解があって、初めて、市としても、道としても、国としても実施できる
という性格のものであります。仮に、我々が頑張っても、住民の大多数が、それ
を認めないということになれば、進められないこととなりますので、いろいろ
とアドバイスをいただきながら、支援をお願いしたいと思います。

そ の 他

福原会長 他にございませんか。
それでは、本日の議題および報告案件すべてを終了しました。

次に、その他として委員の皆様から何かございますか。

松山委員 以前に地球温暖化防止について、お話しさせていただきましたが、稚内市で
行われている風力発電、太陽光利用を観光に結びつけている「風のがっこう稚
内」の活動について発表したいことがありますので、次回の協議会で時間をい
ただけないでしょうか。

福原会長 松山委員から発表したいので時間をいただきたいということですが、どれく
らいの時間になりますか。

- 松山委員 5分間程度でよろしいですので、お願いします。
- 福原会長 それでは、次回の協議会で時間を取りたいと思います。
他に、ありませんか。
- 大江委員 道東道からのアクセスについて教えていただきたいのですが、いまでなくても結構ですので、どういう状況になっているのかを教えてください。
- 角丸建設課長 具体的にはわかりませんが、次回までに資料を用意いたします。
- 大江委員 この地域が高速道路の空白地になるということが言われていますので、帯広からアクセスできますと話しをしていますが、何かあれば非常に心強いんですが。
- 南川副市長 それは、小利別インターは間違いありません。ただ、その場合であっても、国道242号を使うということで、非常に距離が長いなど、だから、訓子府のインターみたいに入れるようなことは、いろんなレベルで出ています。国道の切り替え、道道から国道の昇格、国道から道道への格下げというような手続きも一緒なんで、その辺がうまくいくかですが、市長は要請、陳情を行っております。
- 福原会長 市民も関心がありますので、実態がなかなかわからないのですけれども。
- 福原会長 それでは、来年と再来年に、この留辺蘂で全国規模のスポーツ大会が開かれることは皆さんご承知と思いますが、来年ここで全国大会、再来年は弓道ですけど、60歳以上の全国健康福祉まつりという、通常、ねんりんピックというのですが、全国大会が開催されるということで、とりあえず、概要ということで説明をしていただき、皆さんにご理解を深めていただいでですね、またご協力をお願いしなければなりませんので、説明をお願いします。
- 小林教育事務所長 それでは、私の方から説明させていただきます。
来年の6月7日、8日に体育館の横の総合グラウンドですけど、そこで、全国選抜ゲートボール大会が行われます。先般、4月25日に実行委員会を立ち上げまして、実行委員長にここにおられます山田委員が網走管内ゲートボール連盟会長、北海道ゲートボール連合副会長という立場で実行委員長になっておりまして、留辺蘂教育事務所長の私が事務局長ということで、あとは、北見の旅館組合とか観光協会、それから体育協会ですとか、いろんな関係団体が実行委員会に入っていていただいております。主催については、日本ゲートボール連合、主管が北海道ゲートボール連合、それと、私共も実行委員会はそれらを受けて、具体的な地元の組織として活動することになります。4種別の192チ

ームが全都道府県から来まして、役員選手合わせて 1,600 名ぐらいということでございます。18年の初めに市長がコンベンション構想を掲げておりまして、誘致をしっかりとこなって、平成4年にも、全国選抜ゲートボール大会が開催されておりますけれど、同じような大会が開催されます。ただ、いままでの国体ですとか、全国選抜大会のときは、旧留辺蘂町における女性団体協議会、老人クラブ、いろんな方々の組織の方のバックアップをいただいて運営してきたとおりですけど、競技については、すべて日本ゲートボール連合なり北海道ゲートボール連合が行う。総務関係ですと、歓迎ですとか、そういう接待関係については、地元で行うことになっておりますけど、具体的なアクションはまだ起こしておりませんが、私共の内部の話しでは、(協)留辺蘂商業振興会の方々には、駅から降りて、あそこの大通りを歩いていくということ、それから、ボランティアすみれ会の方々にも山田委員長の案ですけど、呼びかけをしていくことに、いろいろと呼びかけをしていくことで考えております。当然、国体とは違って、全町を挙げてという推進体制、実施体制には、行政の側としては、そういう状況には無いということですけど、お金のかからない部分で留辺蘂自治区の皆さんにその意をくみ取っていただいて、いろんな立場でご協力をいただくということは、これから働きかけなければなりません。いずれにしても、コンベンション構想を掲げている北見市として、これら2年にわたって全国大会をこの留辺蘂自治区で開催されるということは、大きな留辺蘂自治区のいろんな施設それから人を含めてノウハウの蓄積があると思いますし、いつまでも留辺蘂らしさということだと思っておりますけど、協議会の皆さんにおかれまして、いろんな立場で宣伝、PRほか、いろんな部分でご協力をいただきたいと思います。この件につきまして、山田委員長から何かありましたら、お願いいたします。

山田委員

来年の大会のことで、お知らせいただきまして、大変、心強く思っております。この全国選抜ゲートボール大会につきましては、平成4年のときに留辺蘂町で開催をしております。このときは、いままでに無い自治体主体の大会でありました。非常に町ぐるみで歓迎をしていただいて、すばらしい大会、いまでも、留辺蘂大会に参加した選手達は、留辺蘂の大会を思い起こして、大変良かったという思い出を残しております。そんな中で、今回、16年ぶりに、また留辺蘂で、なぜ留辺蘂でということになりますけど、たまたま19年に北海道は4つの大きな大会を主管するという部分があったのですが、どこの地域も、いまこういう現状で、自治体は大変であるということで、受け入れ態勢が全く駄目である。たまたま、私は、北海道の副会長をやっている、うちの町は、今度、北見市と合併をするということで、合併記念という形でどうなのかということで、市長が当選してからお願いに行ったところ、快く受け入れていただいて、北見市が手を挙げたという経過でございます。それで、日本ゲートボール連合の方から現地視察に来られまして、北見のモイワスポーツワールド、それと留辺蘂町を見ていただきまして、スポーツワールドは非常にいい場所ですけど、

音を高く上げたら駄目、芝の管理で何日もラインテープを張っていたら駄目ですよとか、いろんな規制がございまして、日本ゲートボール連合の人は、ここは使えないと、それで、留辺蘂に来られて、留辺蘂の平成4年にやった現状を見たときに芝になっているものですから、同じ北見市だから、ポータブルにテープを張って大丈夫ですか、これは大丈夫、テント張っていても大丈夫ですか、これも大丈夫ですということで、それでは留辺蘂町で開催しようということに決定をさせていただきます。それで、選手団が選手役員入れて1,600名でございますから、平成4年のときには、温根湯で大江本家、温根湯ホテル、花水荘の3つのホテルで十分というか満館状態だったんですけど、今回は、花水荘が無いということで、いまエージェントと打合せをしながらですね、北見市でやるものですから、北見市内で宿泊、温根湯で宿泊、全体は温根湯で宿泊なんですけれど、受け入れできなかった方は北見に宿泊をしてもらう。そんな意味では、いま何にも、町にも、飾りものも、PRもありません。来年に向けて、そろそろPRしてほしいなあというのが、私の願いです。特に、1,600名が来るということで、そうとうな経済効果だと、また、小松市に視察に行ってきたときに、日本ゲートボール連合のトップが言ってくれたことは、失礼な言い方ですけど、金儲けを町でしなさいと、それで、本来ですと、土曜日、日曜日の大会ですけど、金曜日から親睦大会を開いて、選手団を早めにホテルに泊めたらどうですかというふうに言ってくれました。それは、この、長い歴史の中で、そういう話しをしてくれたのは初めてなんです。ですから、日本ゲートボール連合も折角だから留辺蘂にお金を落とすようなアイデアを出してくださいと言ってくれました。そんな意味でも皆さんにご協力を賜りながらやりたいと思います。

よろしく願いいたします。

福原会長

続いて、ねんりんピックのことについて、お話しください。

事務局

(総合支所長)

私からは、ねんりんピックの概要につきまして、ご説明させていただきます。正式名称は、全国健康福祉祭という名称でして、開催については、再来年、平成21年9月5日から8日までの4日間で、札幌市を主会場としまして、道内16の市と町で21種目にわたって大会が実施されます。愛称が、ねんりんピック北海道札幌2009という愛称ができておりまして、通称、ねんりんピックと言われているものでございます。再来年度の大会、参加規模なんですけど、約60チーム、選手役員来賓合わせまして、約800名を見込んでおります。これにつきましては、合併前の旧留辺蘂町時代から関係団体に対して、競技開催の誘致、要望を行ってまいりました。今年3月15日に正式に留辺蘂町弓道館を主会場とした弓道競技の開催、そして、正式に北見市での開催が決まったところでございます。北海道の実行委員会につきましては、今年の8月3日に設置されておりまして、実行委員長は高橋知事、それから北見市長は実行委員会の委員という立場で、それぞれ開催し、市と町の首長が実行委員として参加

しているところでございます。2年後の大会ということで、準備に向けまして、今年11月10日から行われる茨城の大会に際しまして、市の職員、それから、弓道会の関係者あわせて、大会準備のための視察を予定しております。また、北見市における実行委員会の立ち上げにつきましては、来年4月を目途として、実行委員会の設置を予定しております、これに引き続き、来年中に、リハーサル大会を開催されるようでございます。詳細の中身につきましては、今年の茨城大会の視察を終えたあとに具体的な体制づくりを含めて細かい部分の検討がなされているような状況でございます。

以上でございます。

福原会長

私も関係しております、水戸市の主催地に視察団の一員として、行くことになっていきますけど、留辺蘂から誘致運動を進めていたこともあるんですけど、当時は駄目だというような回答だったんですけど、札幌を中心にして、遠くても札幌から200km以内くらいの範囲内で収めないと、総合開会式を札幌でやるから留辺蘂は駄目だという話が出ていました。私は駄目だと思っていたんですが、さっきのゲートボールと同じように引き受けてくれるところが無いということで、弓道館を新しく作れば別ですけど、いまの時代に新しく造るということにはなりませんし、こういう大会を実施できるという弓道館を持っているというのは、道内では札幌のスポーツセンターと、帯広と、網走管内の遠軽、留辺蘂、斜里これくらいしかないんですね、それぞれみんな、こっちのほうは遠くて駄目だということですし、札幌あたりは、自分達の弓道会で運営していく自信が無い。それだけ運営できない、そんなことで、札幌で初めはやりたかったんだけど、札幌では受け入れてくれないというようなことで、前に国体の経験がある留辺蘂でということで落ち着いたということになったんだろうと思います。そういう中で、これから細かいことは決まってくんですけど、いずれにしても、ゲートボールを含めて、折角、全国からおいになる方々に、留辺蘂に行ってよかったという印象を与えるような、そういう「もてなし」と言いましょうか、そういうことの体制を組んでいかなきゃならないだろうということで、競技の方は、それぞれ競技団体の方でやるんでしょうけれども、そういう裏の支えを、留辺蘂地区の住民がやらなきゃならんだろうというふうに、私も考えておりますし、また、ゲートボールを含めて、さきほどの山田さんのお話のように、皆さんにも、いろいろとお願いする点が出てくるだろうと、そういうふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

福原会長

いまのことにつきまして、何か質問はございませんか。
無ければ、事務局から何かありますか。

事務局
(総務課長)

私からは、留辺蘂自治区版の広報誌で周知させていただきましたが、図上防災訓練についてご案内をさせていただきます。開催日は10月25日の木曜日

ということで、自治会にお願いをしていたところでございますが、参加者が70名ほどの申し込みがありました。職員には事前の23日にリハーサルを含めて実施することにしていますが、25日に参加していただく方、全員でもって、万全を期していきたいと考えております。もう1つの諮問事項に係るか、わかりませんが、図上訓練ということで、参加される方は、あまり経験したことが無いと思いますので、そのPRを含めて、委員の皆様にご連絡をおきたいと思っております。

以上でございます。

事務局 (地域振興係長) それでは、次回の第8回まちづくり協議会ですが、10月31日に開催したいと考えております。以上でございます。

福原会長 以上をもちまして、第7回留辺蘂まちづくり協議会を終了いたします。次回、第8回協議会は、10月31日に予定しておりますのでよろしくお願いしたいと思います。

委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご苦労さまでした。

以上のとおり、まちづくり協議会(第7回)を終了した。(20:00終了)

【次回開催日程】

平成19年度 第8回留辺蘂まちづくり協議会

日時：平成19年10月31日予定 18:00～

場所：留辺蘂町中央公民館 1階 小ホール室